

会議名	第6回地域自治区予算分科会		公開
日時	令和2年10月6日(火) 午後7時00分～午後7時30分	場所	一鍬田公民館 2階集会室
出席者	(委員) 松澤誠司、杉山康生、渡邊公美、小林勝則、井上こずえ、 田中純子、滝川多嘉子、細田圭介、白井千穂		
	(事務局) 自治振興課：早川副課長 自治振興事務所：松井所長、森下主事		
欠席者	(委員) 柿野秀夫、伊藤竜助	傍聴者	1名
配布資料	次第		

議題・議事・発言等（要点記録）

1 開会

分科会長が挨拶を行い、本日の地域自治区予算分科会成立の報告及び会議録署名人の指名を行った。

2 議事

・ 令和3年度地域自治区予算事業計画案について

令和2年10月5日に地域協議会委員から中宇利区、黒田区、八名井区へのAED設置を再度協議してほしいとの意見が挙げられたため、会長や分科会長への相談の結果、今回の分科会を設けることとなったことを説明した。

これまでの地域自治区予算分科会の協議により、中宇利区、黒田区、八名井区へのAED設置は事業化しないこととして決定していたが、再度、分科会にて協議、採決した結果、令和3年度の地域自治区予算事業計画案には挙げないこととなった。

<主な意見>

(委員) 人の命に関わることなので、今年度の事業計画案で計上してはどうか。

(委員) 行政区からの意見としては、集会施設の外へ設置を考えているが、盗難までは考慮していない、予算は地域自治区予算で見てもらえばよいと聞いている。
ただ、AEDを設置するにあたっては、使用するための訓練を年2、3回やらなければ、うまく使えないのではないか。予算があるからとのことで設置するのではなく、十分に活用できる体制をつくるべきではないか。

(委員) 設置に関して、区長が変わっても引き継いでいくことを書面で残していくことも必要ではないかと思われる。その調整がまだできていない。

(委員) 設置するからには、AEDの状態を毎日見に行く必要があるのではないか。

(委員) 高齢者も多い地域のため、AED設置による安心感があるとよいが、毎日盗難されていないか見に行くことまで必要なのか。

予算へ組み込めるだけの余裕があるのならば、命を守るものとして予算計上し

てはどうか。必要に応じて体制づくり、文書なども行う。

(委員) 別の事業提案において、地域の集会施設には市の備品を置くことは簡単ではないと聞いた。八名地域では既にコンビニへ設置しているが、その設置に関する取決めがあるのではないか。その取決めと同じ条件で設置することは考えられないのか。

また、AED に関してのみ検討するのではなく、他の事業化されなかった案件についても同様に、機会を設けて検討すべきではないか。審議の時間も足りなかったと思われるため、来年度の検討に向けて整理しておくべきではないか。

(委員) コンビニへ設置した経緯として、コンビニでは24時間人目につく場所であること、こども園は日中に人目につく場所ということであったのではないか。

(委員) 市とコンビニが取り交わしている書面があるはずで、その内容はどうなっているのか。その条件と同じでいいかどうかを考えてはどうか。

(委員) 地域には高齢者が多く、管理することは大変である。高齢者でも使い勝手のよい条件で設置してもらいたい。

(事務局) AED 設置に関して、市とコンビニで協定書を結んでおり、コンビニ側はインジケータの目視を日常的に確認することなどが記載されている。

(委員) 現在、設置してあるものについては、日常的な確認ができる場所に設置しているのではないか。

(事務局) 他の自治区において地域の集会施設に設置しているところもあり、そこもリース契約上の遠隔監視により、日常的な確認を行っている。

(所長) AED については今回の事業計画案には挙げないとしており、まだ設置に関しての課題も多いことから、来年度へ引き継いでももらいたい。

(委員) 設置にあたっては管理ができればいいのではないか。地域としても対応できると思われるため、設置してはどうか。

(委員) 今回の事業計画案には挙げないとしているが、それで終わりではなく、協議していた中でも出てきた課題を解決することも考えるべき。管理だけではなく、地域住民全員が使えるように講習も考えていくべきであり、地域からも状況を聞き取り、来年度以降も継続していくこととしている。

(事務局) 過去の検討してきた経緯を調べたところ、特定の地区のみ使用するものではなく、八名地域全体の備品として設置場所を検討してきており、その設置場所の選定、地域としても日常的に確認することが必要ではないかなど協議されてきた。

(委員) 八名区長会の意見としては、中宇利区、黒田区、八名井区へ設置できるとよいとして意見をまとめた。

(委員) AED は命に関わる機器であり、一度設置すると、設置を止めることが難しくなるため、これまで必要最低限の設置としてきた経緯もある。今後、地域自治区予算を充てられなくなったときのことも踏まえて、今後も協議していくべきではないか。

(委員) 先のことまではわからないが、命に関わることなので、予算を有効に活用して設置していくことを望む。

3 閉会